

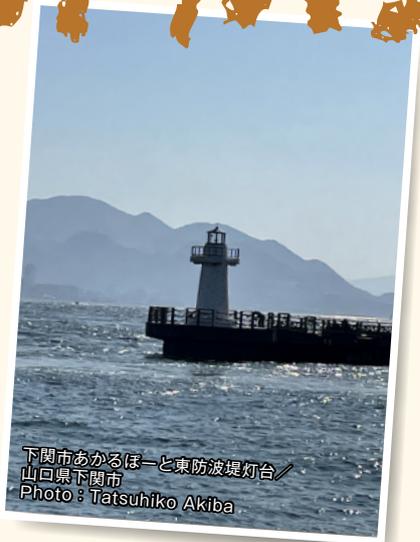
クロザリル患者モニタリングサービスにご登録された医療関係者のための情報誌

CPMS

ニュース

発行：ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

Vol. **60**
2024
Autumn



下関市あかるぼーと東防波堤灯台 /
山口県下関市
Photo: Tatsuhiro Akiba

Contents

センターインフォメーション

- ・患者さんの転院時の転院元・転院先の対応について
- ・年末年始の検査実施について

クロザリル適正使用委員会 事務局インフォメーション

- ・CPMS運用手順から逸脱事例について
- ・血液検査の結果が「レッド」であった場合のFAQ (2件) を更新しました

ご注意ください

- ・CPMS規定不遵守例

センターインフォメーション

患者さんの転院時の転院元・転院先の対応について

患者さんが合併症や怪我等で他院での治療を要する場合等には転院の手続きをしていただく必要があります。転院時の転院元・転院先の対応等をCPMSセンター ホームページの[eCPMS FAQ](#)より抜粋しましたので、今一度ご確認をお願いします。

Q：患者さんの転院の手順について、転院元と転院先での手続きに違いはあるのか

A：患者さんの転院が決まった場合、下記の手順で手続きを行います。詳しい説明やeCPMSの操作方法は、「転院の手順」([eCPMS 操作説明資料<<転院の手順>>1.3版](#))をダウンロードしてご参照ください。

転院元医療機関

- (1) 転院先医療機関に患者情報を伝達し、転院先医療機関への来院日(検査日)を、規定の検査間隔内になるよう調整し決定する。
- (2) 最後の来院日(検査日)に、eCPMSにて転院の報告を行う(処方日数は転院先医療機関への来院日(検査日)までの日数)。

転院先医療機関

- (3) 転院先医療機関で文書による同意の取得を行い、eCPMSにて患者登録を行う。
- (4) 次回検査期限までに血液検査を行い、eCPMSにて報告する。

Q：患者さんが急遽転院することになり、当院での検査はしない場合にはどのように転院報告をすればよいのか

A：検査値（血球・血糖ともに）、検査実施日および今回の投与日または投与開始日をすべて空欄にしてください転院報告をお願いいたします。

なお、「検査実施日」および「今回の投与日または投与開始日」については当日の日付がシステム上自動で入力されていますので、プルダウンで手修正をしてください。

Q：CPMSセンターの営業時間外に急遽転院となった患者さんがいる場合、営業時間外で患者番号が発番できないため報告書が送信できず、処方できないと思う。持参薬がもうない場合はどうすればよいのか

A：患者登録が前提となりますが、次回検査期限までに不足している分については、転院元での検査結果をご確認いただいた上で、患者番号発番前に転院先で処方いただいて問題ありません。

患者番号の発番についてはCPMSセンター営業時間内に改めてご連絡をお願いいたします。

なお、<[CPMSニュース Vol.32 2017年 Autumn 7ページ](#)>に「こんなときはどうするの？転院に関するQ&A」を掲載していますのでこちらもご参照ください。

Q：クロザリル服薬中に他院に入院した場合の血液検査・報告とクロザリル処方はどうすればよいのか

A-1：クロザリルの投与を継続する場合

クロザリルを服薬中に、合併症や怪我等で他の医療機関（CPMS登録の有無に関わらず）へ入院した場合でも、クロザリルの投与を継続することは可能です。ただし、CPMS規定通りの血液検査と報告が必要となりますので、そのような場合は、以下の手順で検査の報告と処方を行ってください。

1. 他の医療機関への入院中、規定の検査日に患者さんがクロザリルの処方元の医療機関へ来院することができない場合は、入院先の医療機関で血液検査を行っていただきます。
2. 処方元医療機関は、**その血液検査結果を検査日当日中に入手し、通常通りに、検査日当日中にeCPMSにて検査報告を行います**（念のため、検査報告の際はコメント欄に状況をご記入ください）。血液検査結果に問題がなく、クロザリルの投与を継続する場合は、通常通り次回検査日までの日数分の処方が可能となります。
3. 患者さんご本人が処方元医療機関にてクロザリルを受け取ることが困難な場合、もしくはクロザリルが処方された院外処方箋を受け取ることが困難な場合は、患者さんのご家族など代理の方が受け取ることが可能です（クロザリルの払い出しは検査当日でなくても構いません）。

以上1～3を、入院期間中、規定の検査日ごとに行います。

【注意】

1. 入院先の医療機関がCPMS登録医療機関の場合は、必要に応じて（例えば入院が長期にわたる場合など、患者さんごとの状況によりご判断ください）eCPMSで「転院」の手続きを行っていただくことで、入院先の医療機関でeCPMSへの検査報告とクロザリル処方を行うことができます。治療が終わり、再度元の医療機関でクロザリルの処方を受ける場合は、再度「転院」の手続きが必要です。
2. 短期入院の場合で、入院期間中に規定の検査日がなく次回検査期限までに退院して元の医療機関へ戻られる場合は、特にeCPMSでの報告は必要ありませんが、次回の検査報告時にコメント欄に入院の情報をご記入ください。
3. これは緊急時の対応であり、通常は、CPMS登録医療機関に転院せずに、CPMSに登録されていない医療機関を受診している患者さんに対し、上記の方法でクロザリルを処方・払い出すことはできません。

A-2：クロザリルを休薬する場合

他の医療機関へ入院中、クロザリルを休薬する場合でも、CPMS 規定通りの血液検査と報告が必要となりますので、そのような場合は以下の方法で検査の報告を行ってください。

1. 入院先の医療機関から血液検査結果を入手できる場合は、通常通りに、検査日当日中にeCPMSにて検査報告を行ってください。「クロザリル処方」は「有害事象のため休薬」を選んでコメント欄に状況をご記入ください。
2. 入院先の医療機関から血液検査結果を入手できない場合は、検査期限日に、「クロザリル処方」の「その他理由による休薬」を選んでコメント欄に状況をご記入ください。

【注意】

1. 休薬が2日以上の場合、投与の再開は12.5mg/日からの開始になります（増量はCPMS登録医の判断になりますが、新規患者と同様に緩やかな増量を推奨します）。
2. 休薬が4週間を過ぎると、「クロザリル処方」は「検査終了」を選んで報告していただく必要があります。再度クロザリルを服薬する場合は、再登録が必要となります。

Q：身体疾患などでクロザリルを処方できない医療機関へ転院となってしまった。この場合、投与は継続できるのか

A：投与の継続は可能です。詳しくはCPMSセンターのWeb siteにFAQとして「[クロザリル服薬中に他院に入院した場合の血液検査・報告とクロザリル処方](#)は？」を掲載していますのでご参照ください。また、上記サイトには休薬をする場合の対応についても記載されていますのでご参照ください。

Q：検査終了または転院となった患者さんを表示させるには？

A：患者一覧画面を開くと、検査終了または転院となった患者さんは表示されないよう、「検査終了患者・転院患者以外を表示」のチェックボックスにチェックが入っています。検査終了または転院となった患者さんも表示する場合は、以下の操作を行ってください。

1. 「検査終了患者・転院患者以外を表示」のチェックをはずします。
2. 「検索」ボタンをクリックして、検査終了または転院となった患者さんも一覧に表示させます。
3. 検査終了または転院となった患者さんも含めて一覧として出力する場合は、1.2.の後に「患者一覧出力」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the CPMS patient list interface. Red boxes and numbers 1, 2, and 3 highlight the following steps:

- 1:** The checkbox for "検査終了患者・転院患者以外を表示" (Exclude patients who have completed examination or transferred) is unchecked.
- 2:** The "検索" (Search) button is clicked.
- 3:** The "患者一覧出力" (Output patient list) button is clicked.

No.	選択	患者登録番号	性別	患者名等	生年月日 血液型	クロザリル処方	血糖・ HbA1c 検査結果	変更後の 検査期間	血糖 検査結果	HbA1c 検査結果	患者の 状態	前回の 白血球数	前回の 好中球数	白血球・好 中球検査 検査結果
1	<input type="checkbox"/>	0019-001	TP 女	テスト 患者名	1990/09/03 A	継続または投与開始	A		2014/05/23	2014/05/23	グリーン (簡易)	8000	4000	2014/03/06
2	<input type="checkbox"/>	0019-002	TP 女	テスト 患者名	1990/09/03 A	薬状改善のため休薬	A		2014/05/30	2014/05/30	グリーン (簡易)	8000	4000	2014/04/28

At the bottom of the page, there are buttons for "患者一覧出力" (Output patient list), "検査結果推移表示" (Display examination result trends), and "前経緯推移表示" (Display previous history trends). A note indicates that displaying trend graphs requires Excel (11) to be installed.

年末年始の検査実施について

次回のCPMSニュース発行は年明けに予定をしていますので、少し早いですが年末年始の検査実施についての注意点を記載させていただきます。

今年の年末年始は、12月28日(土)～1月5日(日)までの9日間を予定されているご施設もあるかと思えます。

このような長期休業時も、CPMSの基準に応じた血液検査を行っていただく必要があります。

お手数ではございますが、必要に応じて事前に検査日の調整を行っていただき、通常通りの検査と報告をお願いいたします。

なお、条件を満たしている場合に限り、定められた日までに「CPMS検査日変更に関する事前報告書」をCPMSセンターにWeb申請またはFAX送信していただくことで、血液検査期限日+1日、検査日を変更することができます。

CPMSセンターWeb siteから、検査日を変更できる条件および手順の詳細をご確認ください。

CPMS検査日変更に関する事前報告書および検査日変更できる条件・手順の詳細

【CPMSセンターWeb site】CPMS検査日変更

https://www.cpms.novartis.co.jp/interval_top

長期休暇、祝日等の検査日の基本的なスケジュール調整に関するFAQ

【CPMSセンターWeb site】CPMS・eCPMSに関するFAQ「祭日・長期休暇時の検査スケジュールのたて方」

<https://www.cpms.novartis.co.jp/a047>

CPMS検査日変更の概要(クロザリル適正使用委員会の指示内容)

CPMSセンターは、以下の条件を確認できれば、CPMS違反を取り消す(違反と扱わない)ことができる。

1. クロザリル服薬中の場合：

患者のリスクと負担を勘案し、以下を遵守し、検査期限の翌日に検査を実施すればCPMS違反と扱わない。

- 事前に文書でCPMSセンターに報告すること
- 患者または代諾者に説明・同意(口頭も可とする)を得ること
- クロザリル服薬18週間を経過していること
- 直近の検査値がグリーンであること

2. クロザリル中止後または休薬中の場合：

レッドで中止以外の場合、以下を遵守し、検査期限の翌日までに検査実施すれば違反と扱わない。なお、レッドで中止した場合で、検査日が休日に当たった場合、検査が実施されていれば報告が翌日でも違反と扱わない。

- 事前に文書でCPMSセンターに報告すること
- 患者または代諾者に説明・同意(口頭も可とする)を得ること

3. 報告遅延に関して：

採血日に1次承認が完了しており、翌日に2次承認が完了すれば違反と扱わない。ただし、連続して遅延した場合は違反とする。

【CPMS登録医療従事者の異動に伴うCPMS登録変更要請のお願い】

いつもCPMS遵守にご協力いただきありがとうございます。異動が発生した場合にはCPMS登録医療従事者の所属医療機関の変更(ご異動やご退職)の対応を忘れずにお願いいたします。**異動に伴いクロザリル適正使用委員会事務局に「CPMS登録変更要請書(様式8)」**等をご提出いただき、CPMS登録情報の更新を行う必要がございます。CPMS登録情報に変更が生じるご本人様からのご提出がない場合は、代理の方にご提出のご協力をいただいております。お手数ではございますが、異動が決まりましたら事前のご提出にご協力いただきますようお願いいたします。



CPMS登録情報が更新されない場合の問題点

例えば、ご退職されすでにご施設に在籍していない医療従事者のCPMS登録情報が更新されないと、eCPMSからそのご施設の患者情報へアクセスができる状態が継続することになるため、個人情報保護の観点等から問題が生じる場合があります。従って、速やかな変更要請をお願いしております。

必要な様式のご確認、記入方法は下記のページをご参照ください。

■登録情報の変更手続き

【クロザリル適正使用委員会 Web site】変更・削除に関する手続き、登録変更用記入マニュアル

<https://www.clozaril-tekisei.jp/change-registration-information>

クロザリルおよびCPMS関連 Web site 一覧

便利な Web site の URL 一覧です。ご活用ください。また、ブラウザの「お気に入り」に登録すると簡単に閲覧ができます。

※2022年12月20日に行われたCPMSセンター並びにクロザリル適正使用委員会のホームページのリニューアルに伴いURLが変更されていますので、ご注意ください。

サイト名	URL
eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス)*	https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/login/LogoutPage/logout.do
CPMSセンター*	https://www.cpms.novartis.co.jp/
CPMS検査日変更に関する事前報告書*	https://www.cpms.novartis.co.jp/interval_download
eCPMS FAQ*	https://www.cpms.novartis.co.jp/faq
CPMSニュース*	https://www.cpms.novartis.co.jp/news
サポート資材*	https://www.cpms.novartis.co.jp/support
CPMSセンター 資材発注フォーム*	https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=qcr-peqio-463054dceb1e838661afd82fcd425463
クロザリル適正使用委員会	https://www.clozaril-tekisei.jp/
クロザリルに関する各種資材・様式	https://www.clozaril-tekisei.jp/materials
CPMS登録情報の変更*	https://www.clozaril-tekisei.jp/change-registration-information
クロザリル錠	
ご使用の患者さま	https://www.okusuri.novartis.co.jp/clozaril
医療関係者の皆さま	https://drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/

※ Web site 内に掲載されている PDF 様式は直接文字入力が可能です。

※ *マークがついているものはCPMS登録医療従事者にもお知らせしている Web site・Web ページです。

CPMS 運用手順から逸脱事例について

昨今、CPMS 登録医療機関および保険薬局にて、CPMS 運用手順からの逸脱が報告されました。以下に各逸脱内容と対策をお示しいたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

引き続き、CPMS 運用手順遵守にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【事例①】

他医療機関または他診療科にて採血を行ったところ「レッド」となったが、把握が遅れたため、クロザリルの投与中止が遅れた。また、レッド後に必要な毎日の採血検査が一部未実施であった。

● 不遵守項目：CPMS 運用手順 11 項 (本剤中止手順)

【対策】 他医療機関または他診療科との連携が必要となる場合には、以下の点に注意してご対応ください。

- 他医療機関または他診療科とは、事前もしくは緊急搬送の場合は可能な限り速やかに本剤投与中止基準(具体的な白血球・好中球数の値)および投与中止後の手順(CPMS 運用手順 11 項「本剤の投与中止手順」)を共有してください。
- 他医療機関または他診療科における治療中にレッドが発現した際は、速やかに連携をとり、本剤投与の中止、規定値に回復するまでの毎日の採血検査等、CPMS 運用手順 11 項「本剤の投与中止手順」に従った対応を実施してください。

【事例②】

採血の結果「レッド」となったが、その後の採血にて「グリーン」の値に回復したため、クロザリル適正使用委員会による承認を得ることなく、クロザリルを再投与した。

● 不遵守項目：CPMS 運用手順 11 項 (本剤中止手順) および 12 項 (再投与検討手順)

【対策】 採血の結果「レッド」となった場合は以下の対応が必要となりますので、十分にご理解の上、ご対応ください。

- 速やかにクロザリルの投与を中止し、規定値に回復するまで毎日の採血検査を実施してください。回復後4週間は血液検査を週1回以上行い、血液検査結果をeCPMSへ入力してください。
- また、クロザリル適正使用委員会による承認を得ることなくクロザリルを再投与することは認められておりません。CPMS 運用手順 11 項および 12 項に従い、「クロザリル再投与に関する検討依頼書」(※)をクロザリル適正使用委員会事務局まで送付いただき、委員会による審議結果をお待ちください。
※クロザリル適正使用委員会 HP (<https://www.clozaril-tekisei.jp/materials>) に掲載されておりますので、ご利用ください。
- なお、eCPMS への入力の際、入力内容が CPMS 運用手順からの逸脱に該当する場合には、エラーメッセージが表示されます。その際には表示内容をご確認の上、適切にご対応ください。エラーメッセージについてご不明な点等がございましたら、入力を進める前に CPMS センターへご相談ください(TEL : 0120-977-327 (9:00~17:45 土・日・祝日、ノバルティス ファーマ(株) 休日を除く))。

【事例③】

CPMS登録保険薬局にて、当該保険薬局の連携先として登録されていないCPMS登録医療機関からの処方箋を応需し、クロザリルを払い出した。

●不遵守項目：CPMS運用手順 16.1項（院外処方での本剤の取り扱い手順）

【対策】 保険薬局のクロザリル管理薬剤師は、処方箋とともに患者様に渡されたクロザリル血液検査確認書に記載されているeCPMS患者登録番号から患者様を特定し、eCPMS上で処方可能と判断されていること、投与量および次回血液検査日までの投与日数を確認した上で、本剤の調剤と払い出しを行う必要があります。この際、当該保険薬局の連携先として登録されていないCPMS登録医療機関からの処方箋を応需したことが判明した場合は、調剤をお断りいただき、処方元の医療機関へ調剤可能な薬局を紹介いただくようご依頼ください。また、以降も当該患者様からの処方箋を受け付ける場合は、事前にクロザリル適正使用委員会HPの「[登録情報変更](#)」より、以下①～③の手順にて、処方元医療機関を追加するための変更手続きを行ってください。

<保険薬局において連携先医療機関を追加する手順>

- ①クロザリル適正使用委員会HPの「[登録情報変更](#)」にアクセスする。
- ②項目「6. CPMS登録保険薬局に関する変更」をクリック。
- ③「⑥処方元医療機関を追加する場合」を参照いただき、必要な書類を適正使用委員会事務局までご提出ください。

血液検査の結果が「レッド」であった場合のFAQ(2件)を更新しました

血液検査の結果が「レッド」であった場合、以下のFAQ(eCPMS FAQ: 項目「血液・血糖モニタリング」)を参考に、採血結果をeCPMSへ入力いただきますようお願いいたします。

(ア)FAQ: (<https://www.cpms.novartis.co.jp/a074>)

Q:レッドで中止した場合に必要なCPMSへの報告と、当該患者に対する再投与の基準について、詳しく教えてほしい

A:本剤投与中にレッドの検査結果が確認された場合は、CPMSで定めた検査予定日または検査予定でない日に限らず、必ずレッドの検査結果をCPMSへ入力し一次承認二次承認を行ってください。また、再投与を行うためには、クロザリル適正使用委員会による承認が必要となりますので、CPMS運用手順 11.2「血液検査結果による投与中止後の再投与の検討」に記載されている再投与検討基準を満たすことを確認し、12.1「血液検査の結果により投与を中止した場合」の手順に従って、「クロザリル再投与に関する検討依頼書」をクロザリル適正使用委員会事務局まで送付ください。

詳細はCPMS運用手順の該当箇所をご参照ください。CPMS運用手順、クロザリル再投与に関する検討依頼書、送付先などは以下のページに掲載しております。

<https://www.clozaril-tekisei.jp/materials>

注意: CPMSは定期的な血液検査実施による患者の安全性確保および白血球数・好中球数減少によりクロザリルの投与を中止した患者への再投与の防止を目的に導入されています。

レッドの検査結果を入力せず報告した場合、自施設・他施設での再登録時にアラートが表示されず、CPMSで定めた手続きを経ることなくクロザリルを再投与することとなり、患者さんを危険にさらすこととなります。また、CPMS運用手順の不遵守にも該当します。

CPMS運用手順の不遵守が判明した場合、CPMS運用手順 13.1項に従いクロザリル適正使用委員会で審議を行い審議結果に基づき対応を行います。過去の違反事例ではCPMS登録の取消と判断された事例もございます。

Point

☆本剤投与中にレッドの検査結果が確認された場合は、CPMSで定めた検査予定日または検査予定でない日に限らず、必ずレッドの検査結果をeCPMSへ入力してください。

☆レッド後に再投与を行うためには、CPMS運用手順 11.2「血液検査結果による投与中止後の再投与の検討」および12.1「血液検査の結果により投与を中止した場合」の手順に従って、「クロザリル再投与に関する検討依頼書」をクロザリル適正使用委員会事務局まで送付してください。

(イ)FAQ: (<https://www.cpms.novartis.co.jp/a075>)

Q:検査結果がレッドとなった当日に、eCPMS上で「投与中止(検査値異常のため投与中止または中止後のフォローアップ)」以外の報告(「検査終了」「転院)」を行うときの対応について

A:以下の手順にて対応ください。

1. 検査結果(検査実施日、白血球数、好中球数)の報告書作成:

CPMSで定めた検査予定日または検査予定でない日に限らずレッド(白血球数 $3,000/\text{mm}^3$ 未満もしくは好中球数 $1,500/\text{mm}^3$ 未満)の検査結果が判明した際はeCPMSに検査結果を入力し、クロザリル処方「投与中止」欄より「検査値異常のため投与中止または中止後のフォローアップ」を選択いただき、一次承認・二次承認を行ってください。

注:CPMS導入の目的の一つにレッド患者への再投与防止(クロザリル適正使用委員会の承認を得た場合を除く)がございすため、eCPMSにレッドの検査値を入力することが最も重要です。レッドの検査結果を入力せず報告した場合、自施設・他施設での再登録時にアラートが表示されず、CPMSで定めた手続きを経ることなくクロザリルを再投与することとなり、患者さんを危険にさらすこととなります。またCPMS運用手順の不遵守となり、[CPMS運用手順 第13項](#)に従い対応を行うこととなります。

【検査値】

検査実施日	2024年 5月 16日
白血球数	2000 /mm ³
好中球数	5 % 計算 → 実数値 100 /mm ³

2. 「検査終了」もしくは「転院」の報告書を作成:

検査実施日を空欄とし、クロザリル処方「検査終了」もしくは「転院」欄から、適切な項目にチェックを入れ、一次承認・二次承認を行ってください。入力に際して不明な点がございましたら、CPMSセンターへお問い合わせください。

なお、「検査終了」もしくは「転院」のため終了した場合は、その時点でeCPMS上での報告は終了することとなります。

Point

☆同日に2つの報告書をeCPMS上で作成いただくことは可能です。上記の場合、まずは採血結果「レッド」に関する報告書をeCPMS上にて作成いただき、その後、「検査終了」もしくは「転院」に関する報告書をeCPMS上で作成してください。

本件に関して、ご不明な点等がございましたら、ノバルティスファーマのクロザリル デジタルコミュニケーターへのメール連絡、または、クロザリル適正使用委員会 Web site のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
 なお、二次元コードからもアクセスいただけます。

【お問い合わせ先】

<p>クロザリルデジタルコミュニケーター (クロザリルとCPMSについて、幅広いニーズに対応いたします)</p>	<p>クロザリル適正使用委員会</p>
<p>clozaril.remote@novartis.com</p>	<p>https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=qcr-penal-aa1f02fea6594a884e42f065a636db1f</p>
	

※読み取りにくい場合は二次元コードを拡大しお試しください。

ご注意ください — CPMS 規定不遵守例 —

2024年1月1日から2024年8月31日までに報告があった事例を紹介させていただきます。

※クロザリル適正使用委員会との協議により、2013年まで累積数にて報告してきたCPMS規定違反数について、2014年から単年度ごとの報告とすることになりました。

登録数

登録医療機関数：661施設 登録患者数：20,693人

CPMS 規定違反・警告内容

【検査未実施：27件】

規定の間隔以内に検査を実施しなかった。

【血糖モニタリングの警告：2件】

血糖・HbA1c未実施。

【報告遅延：349件】

検査は実施していたが報告が遅れてしまった。

【その他：5件】

報告遅延を防ぐために

ポイント①

血液検査結果は、採血当日中(24時まで)にeCPMSで報告書を作成し送信してください。規定通りの検査間隔で検査を行っていても、検査実施日より後の日に報告を行った場合は、報告遅延となりますのでご注意ください。

- 採血日＝検査実施日＝報告書送信日 となるようにしてください。
- 処方検査実施日より後の日に行う場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
- 次回検査期限より前に検査を行った場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
CPMS規定による検査以外にイレギュラーに検査を行った場合の報告については、特に必須ではありませんが、送信する場合は検査実施日当日中をお願いします。
- 初回報告書のみ、投与開始日の10日前までの検査結果を使用することができます。

ポイント②

eCPMSによる検査報告は、処方ごとではなく規定の検査ごとに行ってください。

- 検査実施日ではない日にクロザリルの増量を行うなど処方に変更があった場合は、eCPMSで報告する必要はありません。
- 今回の検査実施日から次回検査予定日までの間に処方変更の予定がある場合、処方欄の「今回の投与量」には、今回の処方の初日の用量をご入力ください。
- 投与中止(血液検査結果以外の理由)・休業後も、4週間はそれまでの検査間隔でフォローアップ検査と報告が必要です。

eCPMSにおけるCPMS規定違反数の表示について

クロザリル適正使用委員会との協議により、2011年より注意喚起のためにeCPMSに表示されるCPMS規定違反数の表示時期が変わりました。表示が消えても違反数にはカウントされ、厚生労働省等の規制当局やクロザリル適正使用委員会への報告対象となります。患者さまの安全性確保のため、引き続きCPMS規定の遵守をよろしくお願いいたします。

CPMS サポート資材の発注・ご意見・ご要望・CPMS ニュース表紙の灯台写真を受付中です

【CPMS サポート資材発注方法】

- ① Webフォームで発注：「[こちら](#)」をクリック
 - ② E-mailで発注：「医療機関名・所属科名・氏名・希望の資材名・部数」を記入し cpms.japan@novartis.com に送付
- ※資材一覧は「[こちら](#)」をクリック(CPMSセンターWeb site「CPMS サポート資材」をご参照ください。)

【ご意見・ご要望・灯台写真】

上記E-mail(CPMSセンター)宛にお送りください。お送りいただいた灯台写真を紙面に使用させていただく際には、ご連絡させていただきます。お送りいただいた写真が規格に合わない場合は使用させていただくことができませんが、ご了承ください。

登録医療機関

661施設

2024年8月31日現在

公表医療機関

633施設

2024年9月4日現在

患者登録済み

592施設

2024年9月4日現在

登録患者

20,693人

2024年8月31日現在

登録医療従事者

26,095人

2024年9月4日現在

※「登録患者」はCPMSセンターの集計、その他はクロザリル適正使用委員会Web siteより引用しています。

<https://www.clozaril-tekisei.jp/registered-medical-institutions>



ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

〒105-6333 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー

お問い合わせ先：0120-977-327 (9:00~17:45 土・日・祝日、当社休日を除く)

※内容を正確に把握し、回答および対応の質の維持・向上のため通話を録音させていただきます。

eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス)：<https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/>

CPMS00010PU(0060)

2024年10月作成